

津田中だより



枚方市立津田中学校
令和7年10月1日
発行 校長 田中 博

自他敬愛

カルスポ祭 文化の部、目の前に！



1学期から取り組みを始めてきたカルスポ祭文化の部が、いよいよ明後日となりました。1年生は、中学校では初めての文化祭です。クラスみんなでデザインから考えたホリゾン制作に時間を費やしてきましたが、いよいよ披露する時が来ました。また、先輩たちの発表を見るのも初めてです。津田中学校全体での文化祭一日の雰囲気は大いに体感して来年度につなげてほしいと思います。

2、3年生は、各パートに分かれて行ってきた合唱練習もいよいよ最終段階に入りました。どのクラスもパート練習の最初の頃は、意見の違いや取り組みの熱量の違いなどで衝突もあったかもしれませんが、徐々にしっかりした形となってきたのではないのでしょうか。全員の心をひとつにして、素晴らしいハーモニーを聞かせてほしいと思います。上級生として、後輩の皆さんに堂々とした歌声を聞かせてください。

また、クラスの発表だけでなく、教科や学年、クラブ活動などでも展示や発表に頑張ってきた人も多くいると思います。存分に発表してください。

そして、皆さんに一番頑張してほしいことは、他の人の発表をしっかり鑑賞することです。頑張っている仲間の姿を認め合って、尊重し合ってほしいと思います。津田中学校が一つになって、最高の文化祭にしてください。



10月17日

体育の部へ



文化の部が終われば、次は体育の部です。出場する種目も決定していて、体育祭への思いも文化祭と並行して高まっているかと思います。運動が得意な人、苦手な人がいると思いますが、自分自身が持っている力を全力で発揮できるようにしてください。

／考えてみよう／

文字だけのコミュニケーションは意外と難しい！？

会話の流れが速く、ささいなことでも誤解や感情の行き違いが起きやすいグループトーク。トラブルにならず仲良く使い続けるために気をつけたいことは？

A.誤解を与えないために

記号、絵文字、スタンプなどをうまく使って、気持ちを正しく伝えましょう。

B.速くて複雑な会話だから

流れに乗ることも大切だけれど、送る前に“ちょっと見直す”ことを習慣にしましょう。

C.ムカツ！イラッ！としたら

嫌な気持ちになっても少し落ち着いて。文字で伝えづらいなら電話するのも良い方法です。



☆グループトークに起因する“いじめ”も、パターンはさまざま

スマホやSNSの普及で新たな問題となったのが、いわゆる“SNS いじめ”。これまでの、1人の子を多数で追い詰める、発言を無視する、いじめ・嫌がらせのネタとなる写真や動画を共有する、グループから外す(または新たなグループを作り会話を移動)などに加え、「ステメ」を悪用した嫌がらせも全国で起きています。

メンバー以外には読むことができないグループトーク、誰宛てかを一切書かない悪口ステメ、いずれも人目につきににくく発見が遅れがち。身近な大人が日々の様子や会話から変化・違和感を察することが早期発見・解決の鍵。



／考えてみよう／

良かれと思って拡散した情報がデマだった？！

災害時には、多くの誤った情報が流通・拡散し、迅速・円滑な救助の妨げになり、救助が必要な人に届かない場合なども。ウワサやデマなど偽・誤情報に振り回されて失敗しないためには、どうしたらいいでしょう？

A.まずは深呼吸、冷静になる

災害時に危険を伝える情報を見たら誰もが慌てます。知らせる・広める前に一度落ち着きましょう。

B.表現の自由と他人や社会への危害

表現の自由はありますが、個人や社会に重大な危害を及ぼす投稿は犯罪や権利侵害、SNS利用規約違反になる場合も。

C.騙(だま)されないためには？

真偽の不確かな情報は、安易に拡散せず、公的機関の情報、報道やファクトチェック団体などを確認！

☆情報の再投稿やシェアの前には必ず以下の確認を！

文章や画像・映像はもちろん、Web作成やプログラミングなどまでできてしまう「生成AI」。急速な発展と普及により、一気に利用者が拡大しました。残念ながらAIの技術は悪用されることもあり、偽・誤情報をさらに見分けにくくしています。特に、音声・映像を加工した動画やチャットはだまされやすく、注意が必要です。

ネット上の情報は誰もが気軽には発信できることから、事実か否かを見抜く力が重要です。デマ情報の拡散は、誰かに多大な迷惑をかけるだけでなく、自分自身が危険な目にあうきっかけにもなります。ネットを楽しむ際は疑わしい情報に惑わされないようにしましょう。

たとえその情報が知り合いからのものだったとしても、安易に信じ込んで発信してしまうとあなたも他人に迷惑をかける側になってしまうことも忘れずに！

